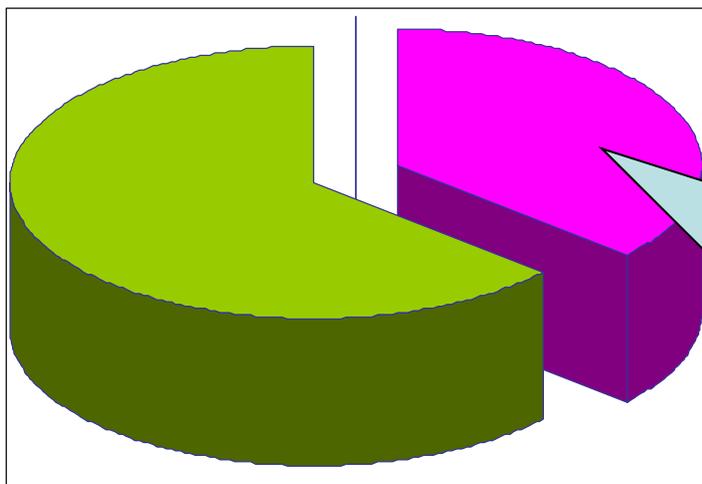


千葉大学 × UPKI Fed

—サービス担当者の視点から—

2009.8.5 @NII
千葉大学附属図書館
野田 英明
h_nod@office.chiba-u.jp



「学外(自宅・出張先)からも
電子ジャーナルを使いたい」

・・・**36.4%**

(SCREALLレポート^(注)自由記述より 独自集計)

⇔ 千葉大学における, とある出版社のリモートID取得率

・・・わずか**2.7%**

(千葉大学附属図書館 2008年実績)

この落差, 図書館としては **かない** 悔しい・・・

▪ 2008年 「UPKI認証連携基盤による シングルサインオン実証実験」に参加

- 学内・学外を問わず，EJを利用できる環境を作る。
- EJ利用時に不要な個人情報流さない。

➤ 電子ジャーナルの認証フェデレーションは，
学術研究活動を支援するために**非常に有益**

(千葉大学 シングルサインオン実証実験最終報告 2009.2)

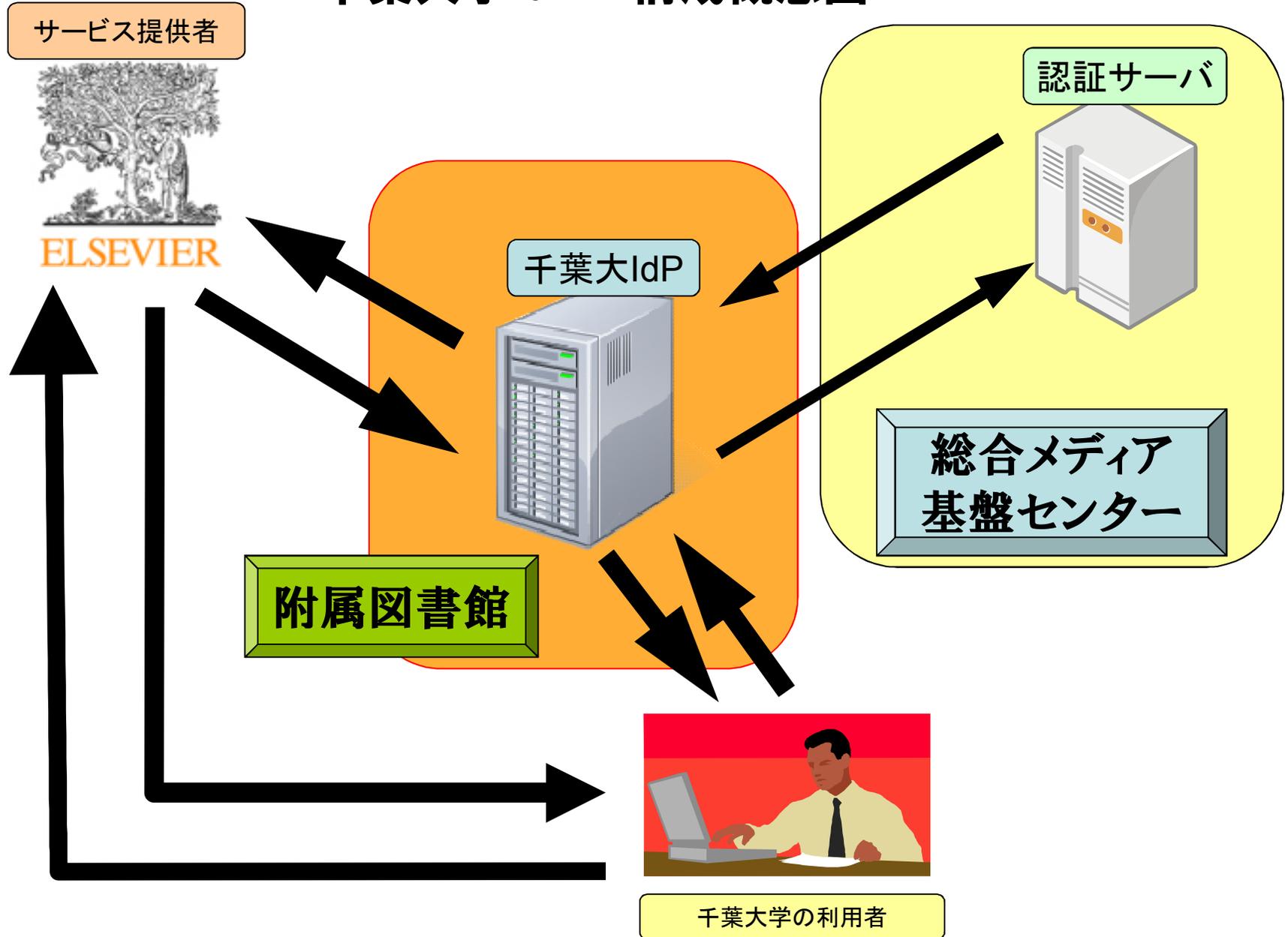
➤ (UPKI-Fed) 試行運用に，

初期段階から参画すべき

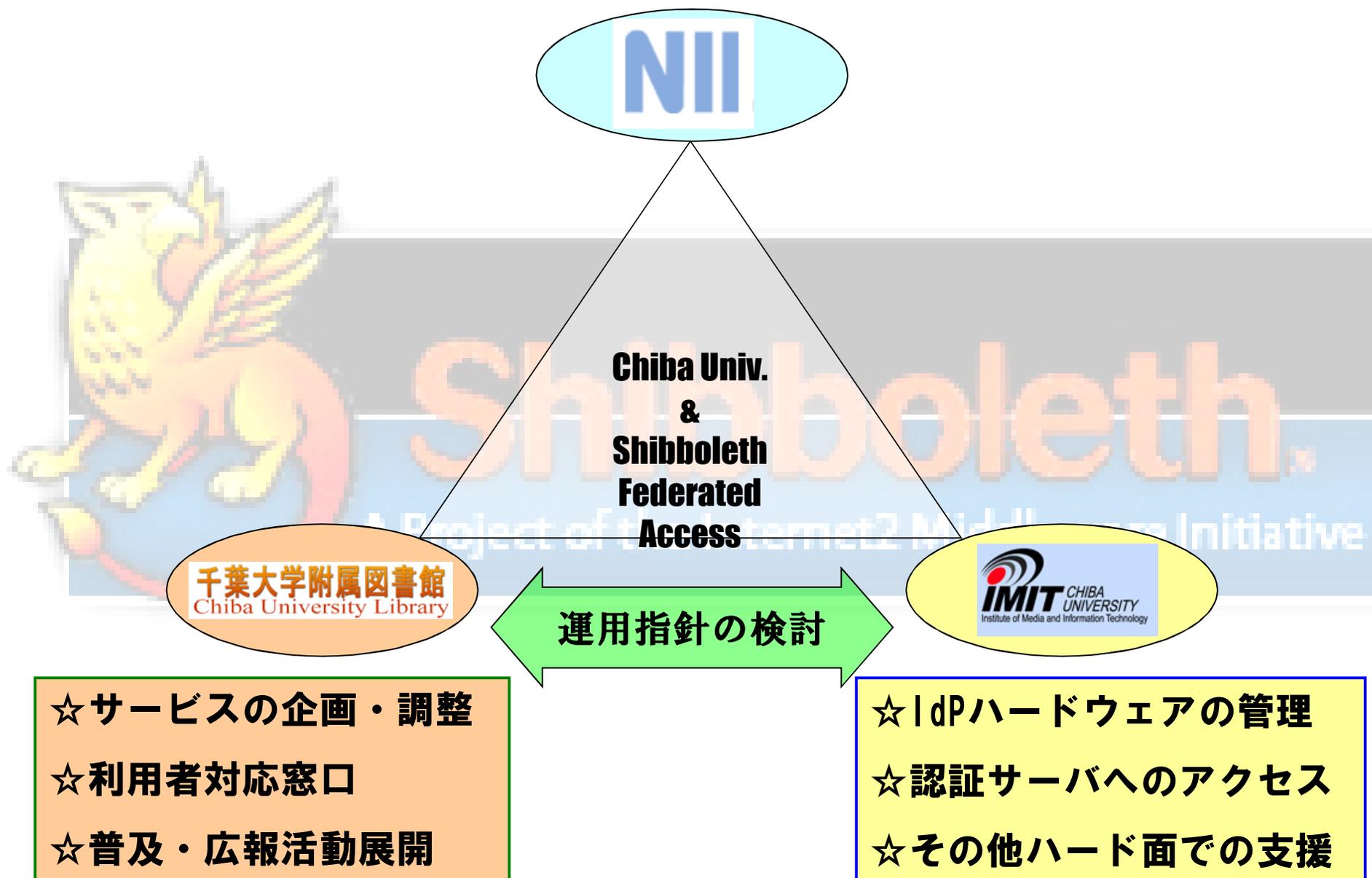
(千葉大学 平成20年度第9回情報化推進企画室会議 2009.3)

▪ 2009年3月 千葉大学IdP構築 **正式決定**

千葉大学IdP 構成概念図

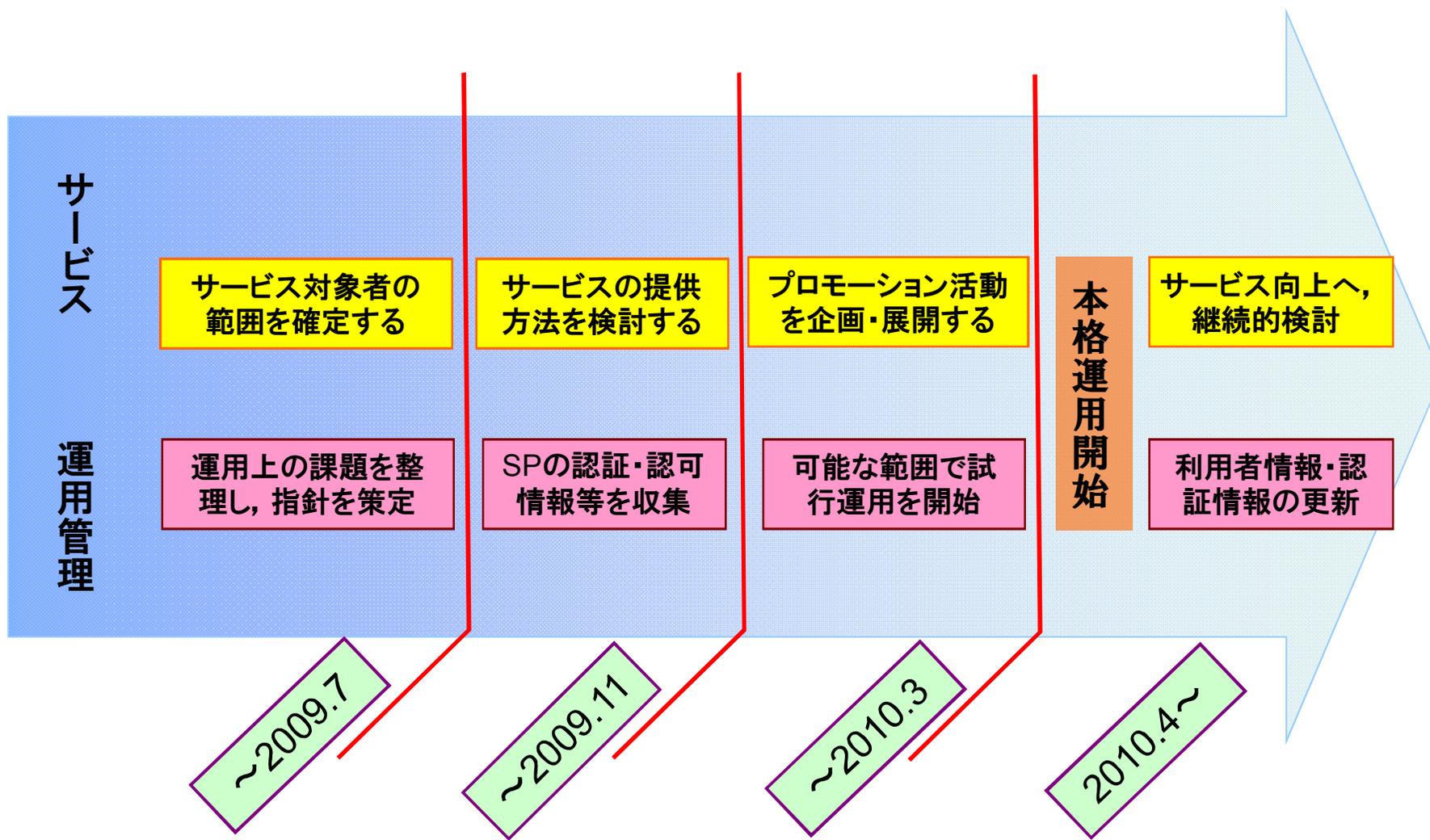


千葉大学 利用者認証サービス 実施体制概念図



千葉大学 UPKI-Fed 参加までのロードマップ

(図書館サイドでの検討課題)



- 千葉大学IdPサーバ“idp.chiba-u.jp”

近日稼動♪

- 「サービス暫定運用指針」

まもなく完成♪

- 千葉大学利用者認証サービス

9月上旬スタート♪

Questions?

【注】 SCREALレポートのデータは、学術図書館研究委員会「学術情報の取得動向と電子ジャーナルの利用度に関する調査」(電子ジャーナル等の利用動向に関する調査2007)による。データを提供下さった関係各位に、この場を借りて深く感謝する。但し、データ分析は本発表者が独自に行ったものであり、誤りの責は発表者に帰すべきものである。